



一般質問通告書

平成 28 年 8 月 23 日

午前 8 時 30 分
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 島田 正次



質問方式 (○を付ける)		一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	3期12年の総括について	
2	市長選挙について	
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	3期12年の総括について
質 問 の 要 旨	
<p data-bbox="231 454 619 488">(質問しようとする背景や経緯)</p> <p data-bbox="268 501 480 535">任期満了が近い。</p> <p data-bbox="231 595 395 629">(質問の目的)</p> <p data-bbox="268 642 644 676">最後に市長の真意を聞きたい。</p> <p data-bbox="231 736 363 770">(質問事項)</p> <p data-bbox="245 784 1394 869">1. やったことがらについては答弁は知らない。できなかった事、やらなかった事について反省の弁と説明を。</p>	

番号	主 題
2	市長選挙について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>市長が推すとしている人物の名前入り暑中見舞いが市民に届いていると聞いた。また、広報こさいにも「次の市長は自分が推す人物の方がいい」と言わんばかりの記事が載っていた。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>次期市長選に関して、市長は本当に市の将来のことを真剣に考えているのか。自分が推すとする人物さえ当選すれば自分もまだ生きる道があると考えているとしか私には思えない。12年たっても何も変えることができず、手当をばらまいて無駄遣いしただけで、湖西市を良い方向に向けることができず、課題だけ残した市長が今何を考えて行動しているのかを知りたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市長は、事実上の選挙運動に入ったと言い、「だからいいのだ」と言わんばかりの行動が目につく。暑中見舞いの中にも自分が推すと公言した人物の名前が書かれていたようであるが、このことについて、どういうつもりでこのようなことをしているのか説明を求める。 2. 自分が推すと公言している人物は脱原発派で、もう一方は「原発推進派だ」と言って回っているようだが、そのことについて説明を求める。 	

一 般 質 問 通 告 書

平成28年 8月23日

前
午 8時35分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成28年 8月23日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 加藤 弘己



質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁・一括と一問一答
番号	主 題
1	学校の常設トイレの改修について
2	三上市長就任後の犯罪減少について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	学校の常設トイレの改修について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>「学校のトイレ研究会」が平成27年度に実施した学校トイレに関するアンケート調査（アンケート回答数192自治体、273校）によると、学校施設の改善要望第1位はトイレです。7割以上が「臭い・汚い」という現状です。湖西市の小中学校でも同様な学校があります。老朽化が進む学校施設の中でも、特に整備が遅れている学校トイレについて、施設改修に向けた設置者の事業計画・予算確保への取組等、喫緊の課題です。</p> <p>また、地域社会における学校トイレの役割も再認識され、東日本大震災発生時、多くの地域住民が学校に避難し、通常の何倍もの老若男女が学校トイレを利用しました。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>トイレ改修の予算を優先的に捻出し、教育環境の保全、災害時避難者の生活の支えとなる社会基盤整備構築のため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 湖西市内の小学校と中学校における大便器の和式・洋式の比率及びシャワー式トイレの設置数はどのくらいですか。 2. 衛生性、感染防御の観点から乾式清掃化への意識が高まっていますが、湖西市の学校トイレの状況はどうですか。 	

3. トイレの改修スケジュールを公共施設等総合管理計画で今後どのように扱っていきますか。
4. 27年6月定例会のトイレに関する一般質問後に改修されたトイレは何か所ありますか。
5. 岡崎小学校の運動場にある使用中止となっている汲み取り式のトイレの改修計画をお聞きします。
6. 災害時には、トイレを利用できない「トイレ難民」が多数発生すると予測されます。避難場所(避難者対策)・大規模な一時集合場所・帰宅ルート沿い(帰宅困難者対策)など学校施設は災害時には地域住民の生活を支える生活基盤としても重要な設備です。災害時対応としての学校トイレについて市の見解をお聞かせください。

番号	主 題
2	三上市長就任後の犯罪減少について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>三上市長は、美化（花、ごみ）では環境面において多大な成果を上げてきました。市長は常々ごみ・花・あいさつ運動で犯罪が4分の1に減少したと発言されています。</p> <p>元ニューヨーク市長ルドルフ・ジュリアーニ氏が行った画期的な治安をよくする方法、いわゆる「割れ窓理論」を事例にあげて説明されていますが、美化を通じて犯罪を減少させたというのはいかがなものでしょうか。</p> <p>花、ごみによる美化以外での犯罪防止要因もあったのではないのでしょうか。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>犯罪の起こりにくいまちづくりにおいて環境美化（花、ごみ）はとても重要です。防犯まちづくりは環境美化だけにとどまらず、ハード面の改善及び市、警察署、消防署等の行政関係機関と自治会、防犯ボランティア等が連携した防犯活動の取り組みにより、安全で安心して暮らせるまちをめざすため。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 三上市長は美化運動、あいさつ運動により犯罪が4分の1に減少したと言っています。最近では28年6月の一般質問の答弁、市長の個人的なたよりにもゴミ、花、あいさつ運動で犯罪が4分の1になりましたと述べられています。美化運動、あいさつ運動だけで成果を上げたように感じられますが他の減少要因についての分析を実施したのか伺います。</p>	

2. 防犯カメラは現在脚光を浴びており、繁華街でのひったくりや自転車盗などの街頭犯罪対策、道路や公園などでの子供の犯罪被害の防止策、樹木、花などの被害防止対策といった効果があると思われるが、湖西市の設置状況と、今後の設置計画を伺います。

一 般 質 問 通 告 書

平成28年8月23日

前
午 9 時 50 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成28年8月23日

湖西市議会議長 二橋益良様

湖西市議会議員 渡辺 貢 



質問方式 (○を付ける)		<input type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	法務局に届けられている地籍調査の成果による地図（地籍図）に関するトラブルへの対応について	
2		
3		
4		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	法務局に届けられている地籍調査の成果による地図（地籍図）に関するトラブルへの対応について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>今から20年程前に、静岡県は国道42号の白須賀長谷地区地内（通称伊良湖街道）に歩道を整備するべく、地元に対し計画の説明会を開催し、国土調査の成果に基づく境界を復元の上、潰れ地の調査及び補償対象物件の調査を実施するとともに、用地交渉を行って下さいました。</p> <p>結果は、地権者の理解が得られないことを理由に、この事業は頓挫してしまいました。</p> <p>その後、国道23号豊橋東バイパスの工事が最終段階を迎えた数年前、豊橋東ICが供用開始するまでの間、この伊良湖街道が迂回路として利用され、昼夜間を通じての大型車両の通行で長谷地区住民は大変な迷惑を受けることになりました。その際、地元から改めて道路舗装の再整備とともに歩道整備についての強い要望が出されました。</p> <p>それを受け、地元では市都市整備部及び県土木事務所新居駐在のアドバイスも頂きまして、平成26年度に歩道整備促進協議会を立ち上げ、静岡県の事業着手準備制度の事業として採択頂けるよう、自治会や地権者代表者などによるワークショップ作業を進めて参りました。</p> <p>計画の頓挫後、年月が経過していることから、改めて各地権者宅を訪問し意向をお伺いした処、事業の必要性についての理解は得られているものの、具体化する場合の最大のネックは、国土調査の成果図面と現地の現況筆界が一致しないことの問題があり、当該地区にあつては、道路境界を含め地区全体の筆界にずれが生じており、その解決策が見えないことに在ります。</p> <p>つまり、関連する官・民及び民・民境界が定まらず、用地買収が出来ないという課題があることが判明いたしました。</p> <p>県事業ではありますが、民・民境界等に関する地籍図の修正に関する調整を県に求めることは出来ず。さりとて公共事業に絡めた境界修正作業を地権者にも求められず、対応に苦慮しています。</p>	

(質問の目的)

市が実施した地籍調査箇所において、法務局の地図と現地の境界位置にずれがあることについて、その原因が地籍調査の成果の誤りによると思われる場合に、市の取るべき対応について伺う。

(質問事項)

1. 質問の背景で述べた、白須賀長谷地区の歩道整備に係る、地籍図と現地の不一致について、特定の筆界でなく道路を含む地区全体の問題があるような当該ケースについてどのように思われているか？
2. 国土調査の成果に関し、市内においてトラブルとなっている事例をどの程度把握しているか、特に当時の地籍測量の技術に疑念を感じさせるようなケースはないか？
3. 地籍調査の結果は、地権者に閲覧確認がされた後に、法務局に送付されることから、確認をされた方に責任を負って頂くことが第一とは思いますが、原因が地籍調査の成果の誤りと思われる場合の対応マニュアルはどうなっているか？
4. 市内の国土調査は、白須賀・新所・新居南部地区が実施されていると思うが、今後の地籍調査への取組み方針を伺う。

一 般 質 問 通 告 書

28年 8月 23日

前
午 10時 16分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

28年 8月 23日



湖西市議会議長

二 橋 益 良 様

湖西市議会議員 馬 場 衛



質問方式 (○を付ける)	一問一答、一括の質問答弁、一括と一問一答
番号	主 題
1	湖西市都市計画道路等、道路整備の進捗状況について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市都市計画道路等、道路整備の進捗状況について
質 問 の 要 旨	
<p data-bbox="252 519 774 560">(質問しようとする背景や経緯)</p> <p data-bbox="236 573 1380 663">湖西市内における都市計画道路等の整備状況を見ると、大変遅れを感じます。</p> <p data-bbox="236 678 1380 768">都市計画道路の推進、インフラ整備は市民生活の向上や交通の安全にもつながり、町づくりの発展にも欠かせません。</p> <p data-bbox="236 784 1380 873">アクセスの便利な道路一つ出来ることで、人・ものの流れが変わり、経済の活性化につながると共に、住環境にも影響を与えます。</p> <p data-bbox="236 889 1380 1037">道路整備には多くの時間と莫大な事業費が必要となります。また、地権者の理解や市民の協力なくしては進みません。協力頂いた市民の方々に応えるためにも、計画的な事業の推進が大事と考えます。</p> <p data-bbox="252 1106 470 1146">(質問の目的)</p> <p data-bbox="268 1160 1252 1200">湖西市都市計画道路等の道路整備の推進状況を確認するため。</p> <p data-bbox="252 1263 438 1303">(質問項目)</p> <ol data-bbox="236 1317 1380 1787" style="list-style-type: none"> 1. 三上市長は、都市計画道路松山茶屋松線の整備について、どのような指示をされたのか伺う。 2. 松山茶屋松線の本年度の整備計画と進捗の状況と次年度以降の整備計画について伺う。 3. 都市計画道路松山弁天線の整備計画・進捗の状況を伺う。 4. 新居斎場進入道路の進捗状況はどうか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

28年 8月 23日

前
午 11時 25分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成28年 8月 23日

湖西市議会議長 二橋 益良様



湖西市議会議員 二橋 浩幸 

質問方式 (○を付ける)		一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答
番号	主 題	
1	新・湖西市総合計画 基本計画の見直しについて	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	新・湖西市総合計画 基本計画の見直しについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯・目的)</p> <p>昨年より1年をかけ、新・湖西市総合計画の見直しが行われ今夏、市民に公開された。先の6月定例会では「基本計画見直し案」における目標値の設定について当局の考えを質した。今回は見直し時における社会情勢を踏まえ、目標達成に向けたより具体的な方策について更に掘り下げて当局の考えと気概を伺う。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今回の見直しでは市民満足度の指標、「住みやすいまち」「住み続けたいまち」について、市民意識調査結果では客観的に把握が出来ないとして、「人口」の数値を目標管理し、達成度を把握する事としたが、人口増加に向けた「住みたいと思う魅力」についてどの様に分析して基本計画を見直したのか。現状の課題と方策は実施計画にどの様に反映されたか。 2. 湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略を実行し、人口減少の歯止めをかけ、市街化区域内の未利用地の利用促進を図ると有るが、現状の事業進捗状況をどの様に分析し、事業計画に反映しているか。 3. 湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、社会増加数、現状「-167」人に対し、移住・定住の促進を図り、「0」を目標としている。観光交流まちづくりの推進と移住・定住の促進の2施策のうち、空き家バンク契約成立件数目標をKPIとし、平成31年までの累計で8件としているが、「空き家バンク契約成立」をKPIに設定した根拠と、寄与率を踏まえた目標設定の考え方を伺う。 4. 移住・定住促進に向けた、市外への「移住・定住」紹介の進捗状況はどうか。また、今年度より「空き家バンク」が開設され半年が経過するが登録状況はどうか、現状と、先進地をどの様に分析し、下期以降はどの様に対応しようとしているか伺う。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること